

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 1学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

- 一 【表現／対話／思想】
- 詩の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。
 - 文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。
 - 伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。
 - 文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。
- 二 【自然／環境／科学】
- 文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。
 - 考えの中心を明確にして、段落構成を考える。
 - 漢字の部首についての理解を深める。
 - 日本語の音の特徴を理解する。
 - 聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。
- 三 【人権／多様性／平和】
- 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身に付ける。
 - 写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。
 - 画数と活字の字体についての理解を深める。
 - 目的や意図を意識して、案内文を書く。

【評価の観点及び内容】

- 【知識・技能】
社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。
- 【思考・判断・表現】
「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【評価の方法】

- 【知識・技能】
ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等
- 【思考・判断・表現】
ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等
- 【主体的に学習に取り組む態度】
ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・ファイル・その他、必要に応じて連絡します。

【教科担任からのメッセージ】

ご入学おめでとうございます。みなさんにとって楽しく、「わかった」「できた」が少しでも多い国語の授業をしていきたいと思っております。集中して授業を受けることはもちろん、予習や復習をすることで学んだことが定着していきます。また、積極的に発表し、友達と意見を交換することで見方や考え方を広げたり、深めたりすることにつながります。全員で学び合い、高め合うことを意識していきましょう。よろしくお願ひします。

(様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	1	ふしぎ	詩の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。	詩を声に出して読み、作者のものの見方や考え方を捉えること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	4	桜蝶	文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	AとBの文の構成や展開の違いと読み手に与える印象の違いとの関わりを捉えること。	復習：授業内での発表や活動を家庭で繰り返す行う。
	2	お気に入りの一品を紹介する	伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考えること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	2	言葉の単位	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	言葉の単位について理解を深めること。	復習：練習問題やテーマを変えながら、文章を書く習慣を身に付ける。
		～单元テスト～			
5 月	5	自分の脳を知っていますか	文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。	全文を通読し、クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉えること。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	6	資料から得た根拠をもとに意見文を書く	考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	共通点や相違点をもとに、根拠を明確にして文章の構成を考えること。	
	1	漢字の部首	漢字の部首についての理解を深める。	「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類	復習：学習した文章について、

				推したりすること。	要約文を作成する。ワークを用いて、問題を演習する。
6 月	2	日本語の音声	日本語の音の特徴を理解する。	日本語の「子音」と「母音」の違いや、音の特徴について理解すること。	〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。分からない言葉を辞書で調べる。
	4	内容を整理して説明する	聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。	聞き手の反応を見ながら話す内容や順番を変えること。	
	4	ベンチ	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身に付ける。	効果的な表現を考えながら、作品の帯やポップを作成すること。	
7 月	2	全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	写真もまた編集されているものであることを確認すると同時に、写真を見る観点について理解すること。	
	1	画数と活字の字体	画数と活字の字体についての理解を深める。	正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身に付けること。	
	5	材料を整理して案内文を書く	目的や意図を意識して、案内文を書く。	誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて案内文を書くこと。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 2学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

四 【自然／環境／科学】

- 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。
- 筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。
- 主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。
- 根拠をはっきりさせて、意見文を書く。
- 目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。

五 【伝統／文化／歴史】

- 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。
- 古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。
- 漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。
- わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。

六 【身体／生命／家族】

- 場面と描写を結びつけて読む。
- 作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。
- 身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。
- 日本語を書き表す文字の特徴を理解する。

七 【近代化／国際社会／共生】

- 論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。
- 漢字の音と訓についての理解を深める。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使うとしているか。

【評価の方法】

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

※辞書を持っている方は、持ってきてください。

【教科担任からのメッセージ】

2学期は、1学期に比べて学習期間が長く、学習範囲も広がります。1学期の学習経験を生かし、予習・復習の習慣化を目指しましょう。その際、漢字テストや単元・定期テストなどに目標を設定し、計画的に学習を進められると良いでしょう。

(様式3)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9 月	3	持続可能な未来を創るために—人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	SDGsに関する資料を参考に、『『エシカル』に生きよう』を通して、自分なりの考えを書くこと。	
	5	森には魔法つかい がいる	筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながらか自分の表現で筆者の考えをまとめる。	本文中の図や写真、調べたことなどを使ってわかりやすく説明すること。	
	3	文の成分	主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	文の成分とは何かを理解し、主語・述語について理解すること。	
10 月	5	根拠を明確にして 意見文を書く	根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	根拠を明確にして自分の考えを書くこと。	
	2	広告の情報を考える	目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	広告を構成する要素を具体的にあげ、広告の「工夫」について理解を深めること。	
	1	昔話と古典	古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	昔話を讀んだり聞いたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつこと。	
	4	物語の始まり	古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。	古典の言葉と現代語のつながりについて考えること。	
	3	故事成語	漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明すること。	

11 月	3	蜘蛛の糸	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	近代小説についての紹介文を書き、意見を交換すること。
	1	河童と蛙	場面と描写を結びつけて読む。	詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読すること。
	7	オツベルと象	作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考えること。
	4	随筆を書く	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	随筆にふさわしい表現を意識しながら随筆を書くこと。
12 月	1	日本語の文字	日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	日本語を書き表す文字の特徴について理解すること。
	4	子どもの権利	論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。	本文の展開を確認し、筆者の説明の仕方の特徴を理解すること。
	1	漢字の音と訓	漢字の音と訓についての理解を深める。	漢字の「音」と「訓」、の違いに注目し、その使い分けや留意すべき特質を理解すること。

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 3学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

八 【伝統／文化／歴史】

- 事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。
- 読み手の立場に立って、文章を整える。
- 自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。
- 話題を意識して話し合い、発言を結びつける。
- 漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。
- 熟語の構成の基本的な型を知る。

九 【自己／他者／物語】

- それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。
- 場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。
- 方言と共通語の特徴について知る。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

【教科担任からのメッセージ】

いよいよ3学期に突入しました。2年生への進級も間近に迫ってきました。3学期は進級への準備期間と言われています。中学校での学習にも慣れてきたことでしょう。ぜひこのタイミングで予習・復習など、学習習慣を今一度整えていきましょう。今学期もよろしくお願ひします。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	5	単語のいろいろ	自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	自立語と付属語について理解すること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	4	河童と蛙	場面と描写を結びつけて読む。	詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読すること。	復習：授業内での発表や活動を家庭で繰り返し行う。
	3	言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ	事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。	事実と意見を整理しながら筆者の意見を捉えること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	2	読み手を意識して報告文を整える	読み手の立場に立って、文章を整える。	図表から読み取れることなどを中心に報告文を書くこと。	復習：練習問題やテーマを変えなど、文章を書く習慣を身に付ける。
2 月	8	故事成語	漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明すること。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	4	発言を結びつけて話し合う	話題を意識して話し合い、発言を結びつける。	意味を定義する言葉を決め、文例を探したり作ったりすること。	
	2	漫画で「物語」を表現する	漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。	作品の解釈や読み手への意識と漫画の絵柄や言葉との関係について考えること。	
	1	熟語の構成	熟語の構成の基本的な型を知る。	構成法の各型に関する理解を深めること。	

3 月	2	四季の詩	それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか考えること。	復習：学習した文章について、要約文を作成する。ワークを用いて、問題を演習する。
	7	少年の日の思い出	場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。	全文を通読し、あらすじを捉え、現在の場面と回想場面のできごとを整理すること。	〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。分からない言葉を辞書で調べる。
	2	方言と共通語	方言と共通語の特徴について知る。	方言の歴史やさまざまな方言について理解すること。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 1学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

- 一 【自己／他者／物語】
- 見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。
 - 伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。
 - 登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。
 - 活用のない自立語のはたらきを理解する。
 - 社会生活の中から題材を選んで書く。
 - 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。
- 二 【自然／環境／科学】
- 花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。
 - 富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。
 - 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。
 - 敬語のはたらきや特徴について知る。
 - 書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。
- 三 【身体／生命／家族】
- 自分の課題に応じて、様々な情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。
 - 話し言葉と書き言葉の特徴を捉える。
 - 図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。
 - 小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。
 - 漢字の成り立ちについての理解を深める。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

- 【知識・技能】
社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。
- 【思考・判断・表現】
「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

- 【知識・技能】
ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等
- 【思考・判断・表現】
ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等
- 【主体的に学習に取り組む態度】
ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(2) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。
※辞書を持っている方は、持ってきてください。学校でも準備をする予定です。

【教科担任からのメッセージ】

進級おめでとうございます。今年度は教科担当が変わります。「もっと知りたい!」「もっと学びたい!」と思えるような、国語の授業を目指していきたいと思います。一年間、よろしくお願いいたします。

(様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	1	虹の足	見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。	比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取ること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	1	質問する力をつける	伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。	質問の内容が適切であったか、より適切な質問はなかったかを話し合うこと。	復習：授業内での発表や活動を家庭で繰り返し行う。
	5	タオル	登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。	「タオル」が果たした役割について考えをもつこと。語り方の特徴とその効果について考え、感想をまとめること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
5 月		～单元テスト～			
	2	活用のない自立語	活用のない自立語のはたらきを理解する。	活用のない自立語の種類と用法について理解を深めること。	復習：練習問題やテーマを変え
	5	新聞の投書を書く	社会生活の中から題材を選んで書く。	集めた材料から自分の意見に合ったものを用いて投書を書くこと。	など、文章を書く習慣を身に付ける。
	1	まちがえやすい漢字	似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書くこと。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	3	日本の花火の楽しみ ～单元テスト～	花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉えること。	
6	4	水の山 富士山	富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめ	文章の構成を捉え、筆者が「水の山 富士山」という題名をつけた	復習：学習した文章について、

6 月	3	説得力のある提案をする	根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。	ことに対して自分の考えを書くこと。 文章構成を決め、スピーチ原稿を作成すること。	要約文を作成する。ワークを用いて、問題を演習する。 〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。分からない言葉を辞書で調べる。
	1	敬語	敬語のはたらきや特徴について知る。	敬語のはたらきと用法について理解すること。	
	5	構成を明確にして手紙を書く	書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。	下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書し、封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知ること。	
7 月	3	夢を跳ぶ	自分の課題に応じて、様々な情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめること。	
	1	話し言葉と聞き言葉	話し言葉と書き言葉の特徴を捉える。	話し言葉と書き言葉の違いを考えること。	
	3	観点を明確にして伝える	図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。	図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返りを行うこと。	
	2	SNS から自由になるために	小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。	SNS の性質を知り筆者の主張を捉えたあと、インターネットでの表現のあり方について考えること。	
	1	漢字の成り立ち	漢字の成り立ちについての理解を深める。	漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類すること。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 2学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

四 【近代化／国際社会／共生】

- 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。
- 事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。
- 考えの理由づけを示して意見文を書く。
- 用言の活用と種類・用法を理解する。

五 【伝統／文化／歴史】

- 登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。
- 言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。
- 文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。

六 【人権／多様性／平和】

- 情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。
- 時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。
- 漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。
- 漢字の多義性についての理解を深める。

七 【近代化／国際社会／共生】

- 筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。
- 情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。
- 話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

※辞書を持っている方は、持ってきてください。

【教科担任からのメッセージ】

2学期は学習範囲も広がるとともに、学習内容もより一層深いものになります。小テストや単元のまとめの機会でも、自身の理解度を確認することを習慣化してみましょ。また、漢字などの言語知識は、一学期と同様に継続的に学習していきましょう。

(様式3)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9 月	3	持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書くこと。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	5	紙の建築	事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。	本文における事例の役割や効果を確かめながら事例と主張を関連づけ、筆者の行動とそれを支える信念を捉えること。	復習：授業内での発表や活動を家庭で繰り返し行う。
	5	根拠をもとに意見文を書く。	考えの理由づけを示して意見文を書く。	根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にすること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	2	活用のある自立語	用言の活用と種類・用法を理解する。	形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深めること。	
10 月	4	敦盛の最期	登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	記述を根拠にして登場人物の心情を読み取り、作品世界を味わうこと。	復習：練習問題やテーマを変えなど、文章を書く習慣を身に付ける。
	3	随筆の味わい	言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつこと。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	3	二千五百年前からのメッセージ	文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。	書き下し文を音読したり暗唱の練習をしたりすることで、各章句の意味を捉えること。	
	2	短歌の味わい	情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を	表現の違いによって描かれる世界に大き	復習：学習した文章について、

			読む。	な違いが生まれることを理解すること。	要約文を作成する。ワークを用いて、問題を演習する。 〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。分からない言葉を辞書で調べる。
11 月	6	夏の葬列	時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。	人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流すること。	
	1	映像作品の表現を考える	漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。	絵コンテの仕組みや特徴について知り、原作の漫画と絵コンテの違いを考えること。	
	1	漢字の多義性	漢字の多義性についての理解を深める。	漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表すこと。	
12 月	5	ガイアの知性	筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。	筆者の提言・主張の妥当性について判断すること。	
	5	記事を書く	情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。	情報をわかりやすく伝えるために写真や図表などの配置を工夫すること。	
	3	相違点を明確にして聞く	話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。	自分のスピーチメモと比較しながら相手のスピーチを聞いたり、質問したりすること。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 3学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

八 【表現／対話／思想】

- 本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。
- 結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。
- 付属語にはどのようなものがあるのかを知る。

二 【自己／他者／物語】

- 詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。
- 人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。
- 日常生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。
- 同音の漢字についての理解を深める。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

【知識・技能】
社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】
「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】
言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【知識・技能】
ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】
ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】
ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

【教科担任からのメッセージ】

3学期は、次年度につながる学習単元も設定されています。それに加え、1年間のまとめも行っていくなど、年間の中でも特に重要な時期となっています。授業の学習効果を今まで以上に高められるよう、予習や復習など、積極的に行っていきましょう。今学期もよろしくお願ひします。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	6	よりよい結論を導く 討論をする	結論を導くために、 相手の立場に立って推論しながら、 意見を述べる。	社会生活の中から話題を決め、 想定される立場を考えること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習:新聞やインターネットを活用して、 テーマに合った情報を収集する。
	4	付属語のいろいろ	付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	助詞の種類とはたらきについて理解すること。	復習:授業内での発表や活動を家庭で繰り返す行う。
2 月	3	豚	詩の構成や展開を踏まえ、 詩の世界を豊かに想像する。	詩を読み、連の関係に気をつけながら自分の考えを まとめて、詩のイメージをクラスで交流すること。	〔書くこと〕 予習:新聞やインターネットを活用して、 テーマに合った情報を収集する。
	7	走れメロス	人称の変化に着目し、 人物の心情や言動の変化を表す うえでの役割や効果を捉える。	語り方の特徴を踏まえて読みを まとめ、感想や意見を交流することによって、 自分の考えをもつこと。	復習:練習問題やテーマを変え など、文章を書く習慣を身につける。 〔読むこと〕 予習:教科書の文章を、時間をかけて しっかりと読み込む。意味の分からない 言葉を、辞書を用いて調べる。
3 月	1	類義語・対義語・多義語・ 同音語	日常生活で使う言葉を、 いつもと違った視点から捉え直す。	日常生活の中から集めた多義語や 同音語を調べたり、考えたりして 用法を知ること。	予習:教科書の文章を、時間をかけて しっかりと読み込む。意味の分からない 言葉を、辞書を用いて調べる。
	5	「連作ショートショート」 を書く	同音の漢字についての理解を 深める。	同音の漢字について理解し、 身のまわりの同音語を見つけること。	復習:学習した文章について、 要約文を作成する。ワークを用いて、 問題を演習する。 〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身につける。 分からない言葉を辞書で調べる。

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 1学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

一【自己／他者／物語】

- 言葉の中の春を読む。
- 文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。
- 知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。
- 言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。
- 作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。

二【人権／多様性／平和】

- 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。
- 自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。
- 新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。
- 漢字の音の歴史についての理解を深める。
- 助詞のはたらきについて理解する。

三【自然／環境／科学】

- 文章の内容について筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。
- 読み手に説明するために構成を工夫する。
- 熟字訓についての理解を深める。
- 和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使うようとしているか。

【評価の方法】

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・

振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(3) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

※辞書を持っている方は、持ってきてください。学校でも準備をする予定です。

【教科担任からのメッセージ】

進級おめでとうございます。教科担任が変わり、昨年度と変わることもあると思いますが、新たな気持ちで学習に取り組んでほしいと思います。授業へ集中して取り組むことに加え、授業での学習をどのように自主学習へつなげていくのか考えることが大切です。1年後、笑顔で卒業できるよう一緒に頑張っていきましょう。よろしくお祈りします。

(様式2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身に付けて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4月	1	春に	言葉の中の春を読む。	『春に』に表されている「気持ち」の中から今の自分の気持ちと近いものを選び、その理由を説明すること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。 復習：授業内での発表や活動を家庭で繰り返し行う。
	3	立ってくる春	文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	筆者に独自の見方・考え方を捉え、それに対する自分の思いや考えを書くこと。	
	3	助動詞のはたらき ～单元テスト～	助動詞のはたらきについて理解する。	判断を表す助動詞と助動詞相当の語句について理解すること。	
5月	1	一言でまとめ一言から広げる	言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	話の内容を一言でまとめるならばどうなるか考えること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。 復習：練習問題やテーマを変えなど、文章を書く習慣を身に付ける。
	4	私	作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	この作品を現実の世界と比較しながら批評し、文章にまとめること。	
	2	薔薇のボタン ～单元テスト～	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	感想や関心をもった点などについて「読書の記録」をとり、記録を使いながら交流すること。	
6月	3	風景と心情	詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	対句や韻について理解するとともに、声の出し方や間のとり方を工夫して音読したり暗唱したりすること。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。 復習：学習した文章について、要約文を作成す
	2	メディアリテラシーはなぜ必要なのか？	新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。	筆者の主張の組み立てに用いられている論理を理解し、その情報の信頼性を吟味すること。	
	1	呉音・漢音・唐音	漢字の音の歴史についての理解を深める。	「呉音」「漢音」「唐音」について理解を深めること。	

	2	文法復習	十品詞のはたらきについて理解する。	十品詞のはたらきとその意味を理解すること。	る。ワークを用いて、問題を演習する。 〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。
7月	5	AIは哲学できるか	文章の内容について筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	「AIは哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめること。	分らない言葉を辞書で調べる。
	5	具体例をもとに説明文を書く	読み手に説明するために構成を工夫する。	具体例から打ち言葉の一般的な特徴を導き出し、読み手の興味をひく構成を考えること。	
	1	熟字訓	熟字訓についての理解を深める。	熟字訓についての基礎的な知識について確認すること。	
	1	和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	和語・漢語・外来語の違いや由来を理解し、効果的な使い分けについて考えること。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 2学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

四【表現／対話／思想】

- 文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。
- 文章を比べ、評価しながら読む。
- 資料を比較して、自分の考えを整理する。
- 助動詞のはたらきについて理解する。
- 場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。
- ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。
- 実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。

五【伝統／文化／歴史】

- 歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。
- 和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。
- 詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。
- わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。
- 異字同訓についての理解を深める。
- 慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。

六【自己／他者／物語】

- 言葉の意味を掘り起こして読む。
- 表現上の工夫に注意して、暗唱する。
- 一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。
- 読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。
- 場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。
- 四字熟語についての理解を深める。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。
※辞書を持っている方は、積極的に活用しましょう。

【教科担任からのメッセージ】

2学期は、1学期以上に進路について考える機会が増えると思います。授業の中で行うことをしっかり身につけられるようにしましょう。

(様式3)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点	
9月	3	Async	文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理すること。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。	
	3	問いかける言葉	文章を比べ、評価しながら読む。	説明の仕方や筆者の主張の、共通点や相違点についてまとめること。		
	5	説得力のある批評文を書く	資料を比較して、自分の考えを整理する。	効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書くこと。		
10月	3	なぜ物語が必要なのか	知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	筆者の「物語」に対する考え方について、自身の経験を振り返って評価すること。	〔書くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。	
	1	相手に対する配慮と表現	場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	場面や相手に応じた敬語の使い方について、さまざまな事例を使い、練習しながら理解を深めること。		
	2	ニュースで情報を編集する	ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。	効果的なナレーションの方法について考えること。		
	1	実用文を読む	実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	効果的な「お知らせ」の方法について、文章によってどのような特徴があるのかを調べること。		
	4	旅への思い	歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	『おくのほそ道』の、文体の特徴について理解すること。		〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	3	和歌の調べ	和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	和歌を声に出して読み、そのリズムを味わいながら、意味を考えること。		

11月	3	構成を考えて主張をまとめる	自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。	スピーチを行い、話の構成について工夫されていたことを話し合うこと。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインターネットを活用して、テーマに合った情報を収集する。
	2	最後の一句	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況についての感想を発表し合うこと。	
	1	異字同訓	異字同訓についての理解を深める。	異字同訓についての文章を読み、理解すること。	
	1	慣用句・ことわざ	慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	慣用句やことわざについて、知識を広げたり、実際に使ってみたりすること。	〔言語知識〕 継続的に学習する習慣を身に付ける。分からない言葉を辞書で調べる
	2	俳句の味わい	言葉の意味を掘り起こして読む。	「俳句のきまり」や、俳句で用いられる表現上の工夫を理解すること。	
	1	初恋	表現上の工夫に注意して、暗唱する。	「文語定型詩」の特徴を捉えながら、暗唱することをおして詩を味わうこと。	
12月	7	故郷	一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。	「私」の記憶の中にある故郷と現在の故郷の風景の様子を比べ、その描写の違いがもたらす印象について考えること。	〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、時間をかけてしっかりと読み込む。意味の分からない言葉を、辞書を用いて調べる。
	2	自己PR文を書く	読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	構成を検討して自己PR文を書き、推敲すること。	
	2	表現の工夫を評価してスピーチをする	場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	場面を想定したうえでスピーチをすること。	
	1	四字熟語	四字熟語についての理解を深める。	四字熟語についての文章を読み、基本的事項について理解すること。	

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 3学期 国語科 シラバス

【学習の目標等】

七【近代化／国際社会／共生】

- 持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。
- 話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。
- 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。

八【未来のあなたへ】

- 自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。

【評価の観点及び内容】

【評価の方法】

【知識・技能】

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるか。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。

【知識・技能】

ノート・プリント・ワーク・発表・小テスト・定期テスト等

【思考・判断・表現】

ノート・プリント・ワーク・発表・作成物(作文等)・小テスト・定期テスト等

【主体的に学習に取り組む態度】

ノート・プリント・ワーク・作成物(作文等)・振り返りシート・発言・発表・小テスト・定期テスト等

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

国語という教科は、学習内容・学習方法ともに基礎基本をしっかりと身に付けることが大切です。授業の一回一回を大切にすることはもちろん、予習・復習と自主学習の学習習慣を確立することを目標にしましょう。

(2) 授業の受け方

授業で用意するもの：教科書・ノート・ワーク・その他、必要に応じて連絡します。

【教科担任からのメッセージ】

いよいよ中学校生活最後の学期を迎えました。これまで学習してきたことを着実に身に付け、進路選択、そして社会へ歩み出してほしいと思います。授業回数も残りわずかとなりました。1回1回の授業機会をより大切にしましょう。今学期もよろしくお願ひします。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・ 力	家庭学習の要点
1 月	3	持続可能な未来を 創るために——人 間の生命・存在を考 える／生命とは何 か／地球は死にか かっている／水の 星	持続可能な社会 の実現に向けて、 自己変容を通じ て未来を考える。	持続可能な社会の実 現に向けて、自分 の考えを書くこと。	〔話すこと・聞くこと〕 予習：新聞やインター ネットを活用して、テ ーマに合った情報を収 集する。 復習：授業内での発表 や活動を家庭で繰り返 し行う。
	2	助動詞のはたらき	助動詞のはたら きについて理解 する。	判断を表す助動詞と 助動詞相当の語句に ついて理解するこ と。	〔書くこと〕 予習：新聞やインター ネットを活用して、テ ーマに合った情報を収 集する。
2 月	4	情報をまとめて作 品集を作る	学習を振り返り、 読み手に自分の 思いが伝わる作 品集を作る。	読み手に自分の思い が伝わる作品集を作 ること。	予習：新聞やインター ネットを活用して、テ ーマに合った情報を収 集する。
	2	バースデイ・ガール	自分の読書生活 を振り返り、さま ざまな本や文章 を読む。	作品の構成につい て、語りの構造に注 意しながらまとめる こと。	復習：練習問題やテー マを変えなど、文章を 書く習慣を身につけ る。 〔読むこと〕 予習：教科書の文章を、 時間をかけてしっか りと読み込む。意味の分 からない言葉を、辞書 を用いて調べる。 復習：学習した文章に ついて、要約文を作成 する。ワークを用いて、 問題を演習する。 〔言語知識〕 継続的に学習する習慣 を身に付ける。分から ない言葉を辞書で調べ る。